

平成30年3月10日
東京都なぎなた連盟
第133号 広報部

東京都なぎなた連盟

会長 大谷 正俊



新年おめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

世の中一般を顧みますと政治、経済ともに安定、好調に推移して居るように見えますもの、階層、あるいは地域間の格差はむしろ拡大しているやに感じるのは小生のみの偏見によるものでしょうか。このような時代こそおこらず怯まず、自己を見失わず、平常心をもって身を処すことが大切なこととお互い心得たいものです。

さて、当連盟としての昨年は、福井

県で開催された第58回都道府県対抗なぎなた大会における総合優勝をはじめ各種大会において大いに活躍し、結果を出しました。出場された選手ご本

人はもとより、指導に当たられた先生方、応援、援助に努められた皆様会員のご尽力に対し心からの敬意を表し、感謝申し上げます。今年は東京都ななな連盟創立六十周年の記念すべき年に当たります。記念事業をはじめ例年通り多くの大会や研修会、講習会が予定されております。従来にもまして思い出に残る、貴重な成果を目指して努力されますことを期待いたしております。日本古来の武道文化、なぎなたの修錬を通じて技を錬り心を磨き、なぎなたの理念の実現に邁進されますよう念じております。

今年一年なごなを愛する皆様のご
精武のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ
ます。併せてなごな達の益々の普及、
発展と当連盟の隆盛を祈念し、新年の
ご挨拶と致します。

公益財団法人

東京都体育協会表彰

第72回国民体育大会

国体優秀選手

成年女子

和田 うちら

中島 沙織

北
希織

平成29年11月18日(土)



鏡開き式・武道始め

期日 平成30年1月8日(祝)

成人の日恒例の標記行事が日本武道館に於いて開催されました。

日本武道協議会表彰では栄誉ある「武道功労賞」を砂川邦子範士（福岡県なぎなた連盟）、武道優良団体では、愛媛県なぎなた連盟が表彰されました。心よりお慶び申し上げます。

各種の模範演武を拝見し、武道始めの稽古会にてなぎなたを振り良い一日となりました。

皇后盃第62回全日本なぎなた選手権大会 第17回全日本男子なぎなた選手権大会

期日 平成29年12月3日(土)4日(日)
会場 浦安市運動公園総合体育館

◆ 監督 徳地 昌代

平成29年12月3日(土)4日(日)に浦安市運動公園総合体育館に於いて、全日本選手権大会が開催されました。

今回は残念ながら、思ったような結果を得ることは出来ませんでした。選手達は全力を尽くして試合に臨んでくれました。来年も千葉県で、最高峰の試合が展開されます。ぜひ、会場でご覧ください。迫力が違います。また、皆さんの応援が選手の力にもなります。皆さんのご声援、本当に感謝しております。ありがとうございます。

◆ 女子選手 吉井 和代

今年も千葉県浦安市で開催された標記大会に出場させて頂きました。多くの方に応援に来て頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。一回戦、二回戦と自分の力を出し切ることが出来ましたが、三回戦で気の緩みが出て、敗退してしまいました。今回の反省を胸に、今後もお稽古に励んでいきたいと思えます。

◆ 女子選手 照井 順子

試合は、一回戦、判定で負けてしまいました。試合技術だけでなく、心身ともに大会に向けて整えることの大切さを痛感しました。稽古を重ねた年月を、自分の成長につなげるように努力をしていきたいと思えます。

多くのご声援有り難うございました。期待に応えられるような選手になれるよう、精進してまいります。

◆ 女子選手 和田 うらら

今年度最後の試合は悔しい結果となりましたが、自分らしく攻めることができ、納得できる試合ができました。ここまでなぎなたに打ち込める環境を作ってくださっている多くの方々、ご指導いただいている先生方、先輩方に感謝しております。来年、しっかりと結果として恩返しできるよう、より一層の努力をして参ります。

◆ 男子選手 田村 哲彦

前大会より課題としていた「手打ち」

を直すことが出来ず、一本にならない打突を繰り返すだけになってしまった。全日本大会に出場するというチャンスを与えられたのにもかかわらず、それに見合った稽古が出来なかったことに反省しています。

先生方、皆さんに感謝します。

◆ 男子選手 小芝 大輔

今年一年間は自分のイメージと体の動きが全く噛み合わず、試合で何をすれば良いのか分からず、迷いながら当日を迎えてしまいました。一回戦前半は完全に抜け後半からは手数出して相手をコントロールしようとしたが、一本を決めきるビジョンが視えず判定で敗退しました。なぎなたに関しては苦しい一年間になってしまいましたが、これに懲りずまた、来年頑張ろうと思えます。

第57回東日本なぎなた選手権大会

期日 平成29年11月12日(日)
会場 埼玉県立武道館

八王子市 小芝 大輔

今回は思いがけず、2位入賞を果たすことが出来ました。これまで東日本、全日本を通じて全国区の大会では準決勝で敗退、3位決定戦までしか戦った



試合競技 個人戦2位 小芝選手

ことが無かったので、決勝戦のコートに立てたことは良い経験になりました。結果に反して今年は過去最低の準備不足であり、試合前の練習でも使えるはずの技が使えない等、初めて「前年より弱くなった」という失望を感じながらの一回戦でした。案の定負けでもおかしくない試合内容でしたが、この試合で自分の今日の実力が正確に把握でき、どのような試合をするべきか明確になったことが結果に繋がったと思えます。もちろん負けているので悔しさしか残らないし、最後に取られた一本も、相手のやってくるのが先に視

えていた上で居ついてしまったので稽古不足は誤魔化せないと改めて実感しました。

今まで先生方に頂いた多くのご指導を思い出し、もう少し東京都代表でいられるよう今一度自身を鍛えなおして次の大会に向いたいと思います。

第40回 なぎなた 古流研究会

期日 平成30年1月27日(土)
会場 東京武道館大道場

寒さ厳しい中、東京都なぎなた連盟主催の標記研究会が開催されました。講師の辻村光子範士、関根恵児教士、頼原和代教士の先生方に終日ご指導いただきました。

天道流 浅田 昌子

最強寒波により、東京でも氷点下を記録する中、標記研究会が開催され、総勢87名が参加いたしました。

辻村先生より、現在の全日本なぎなた連盟は、二大流派が原点です、原点に戻ってお稽古できたらいいですねと言うお話を伺いました。

天道流は頼原先生のご指導のもと、



共同練習、段階別による太刀合せ、新しい技を教えていただくなど、理合を考えながら進み、有意義な一日でした。

40回という節目の研究会に、先生方が築いてこられた歴史を感じ、参加出来た事に身が引き締まる思いで、もっと精進しなければと思いました。先生方の熱心なご指導に感謝いたします。有り難うございました。

直心影流 伊原 曜子

開会式後、辻村先生から戦前より今日に至るなぎなたの歴史、関根先生か

らは、「なぎなたは右手右足を同時に進めることで合理的な動きになる」とご指導頂きました。

引き続き、基本の振りと切返しを行いました。午後から班ごとに分かれ、それぞれの課題に取り組んだ後、先輩の方々に、各自が選んだ形を申し出て、受けて頂きました。

研修会を終え、「なぎなたをもつていくのではなく、吐く息と体を使って打つ事」、「突いた部位が相手にピリピリと感じさせるような気魄のある打ち」の教えを念頭におき、精進して参ります。



平成29年度公認スポーツ 指導者講師競技別全国研修会

期日 平成30年2月3日・4日
会場 宮崎県KI RI SHI MA ツワブキ
武道館

中野区 高橋 あき子
標記研修会が、15名の参加でKI RI SHI MA ツワブキ武道館で開催されました。

講師は、中村ゆり子、谷本良子、泉水孝子、森本美佐子の各先生方でした。

◎講義
指導者養成事業・育成プログラム・養成講習会の試験の方法・安全指導等を学習しました。

◎実技
養成講習会の企画・立案、カリキュラムを作成する際のポイントを発表しました。

次に平成30年度国体演技少年(1・4・5本)と成年(2・3・6本)につき中村講師より、①何故ツキ・コテが届かないのか、②スネの刃筋・メンの払いが正確か、③送り足で後方にスネを抜くことを正しく伝えられるか等が提起され、2班で演技した後、意見発表をしました。

受講後「コミュニケーション」の取り方「グッドコーチに向けた提言」の大切さを痛感しました。

平成29年度 全国なぎなた 指導者研修会

期日 平成29年11月24・25・26日
会場 日本武道館研修センター

北区 本間 佳子

日本武道館主催の標記研修会が行われました。

はじめに三藤先生より武道必修化に向けた活動と歴史の講義があり、指導者こそ成長が必要との話をお聞きし、この研修の意義を再確認しました。

実技では中村ゆり子先生に「礼」と「構え」をご指導頂いた後に、三班に分かれました。社会体育指導者班では谷本良子先生・村上礼先生からテーマに沿った充実した内容のご指導を頂き、指導する上で、問題点を確認する大切さを知りました。私達の疑問に笑顔で明快に応えて下さる姿も学ぶ点となりました。

夜の研修では指導要項作成上のご苦勞・学校現場の様子を知ることが出来ました。

このような全国規模の機会を設けて頂いたことに感謝を申し上げます。

平成29年度関東ブロック なぎなた指導者研修会

期日 平成29年11月19日(日)
会場 國學院大學栃木学園
四十周年記念体育館

目黒区 大越 万里子

11月19日に國學院大學栃木学園にて標記研修会が行われました。

講師の榎戸二三枝先生・徳地昌代先生のご指導のもと二段以上の指導者資格を有する参加者99名が、正しいなぎなたの普及発展と指導者としての資質向上を図ることを目的に実技研修を受講しました。団体基本は四段以下と五段以上の2つのグループの順に行われましたが、五段以上の方々の一糸乱れぬ八方振りに、まさに「人のなぎなたから学ぶ」という見取り稽古の貴重な機会をいただきました。午前中は6班に分かれての仕かけ応じを、午後からは全日の形を各々のレベルに分かれて研鑽しました。グループ学習での積極的な意見交換で共通認識を確認し合い、また新たな気づきも得て、理合いと原点に立ち返ることの大切さをあらためて実感できた実りある研修会でした。

平成29年度後期関東ブロック 公認審判員研修会

期日 平成30年2月3日4日
会場 江東区スポーツ会館

江戸川区 中島 沙織

審判研修会は、一日目は演技競技を中心に、二日目は試合競技を中心に行われました。

今回の研修会の目的は「正しいなぎなたの普及・発展」と明記されており、講師の先生方も研修会の始めのご挨拶でお話されていました。

審判員は選手の勝敗を決める重要な責務があると認知していましたが、それは今後のなぎなたの在り方に密に関連しているということを学びました。また、自らの稽古を積み、正しい技や呼吸、間合いなどを判断できるようにしたいと思いました。

今回の研修会を通して学んだことを実際に審判に立つことによって深めていきたいと思っています。

ご指導頂いた講師の先生方、ともに学んだ受講者の皆様、お世話になった事務局の皆様へ感謝致します。

第十六回東京武道館杯

期日 平成30年2月11日(日)
会場 東京武道館

小学生女子の部

優勝	関 笙乃	練馬区
二位	片岡 萌	江東区
三位	阿部 友佳	江東区
三位	木原 楓子	大田区

中学生女子の部

優勝	鈴木 柚香	八王子市
二位	小池 琉美	杉並区
三位	神保 まな	町田市
三位	近藤 美羽	八王子市

高校生女子の部

優勝	須田 優花	国分寺市
二位	平田 優希奈	大田区
三位	上田 桜矢香	葛飾区
三位	林 理恵	中野区

お知らせ

4／8 第73回国民体育大会

なぎなた競技東京都予選会

東京武道館

4／27 創立60周年記念祝賀会

八芳園

5／3 創立60周年記念

第60回東京都なぎなた大会

東京武道館

5／13 第71回都民体育大会

春季大会

東京武道館

5／14 平成30年度評議員会

国立オリンピック記念

青少年総合センター